

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法 人 名	社会福祉法 豊生会
事 業 所 名	グループホーム 隼人 (たんぽぽ)
所 在 地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995- 64- 2520
自己評価作成日	平成30年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は、今年の8月で16年目を迎えます。これからも新たな気持ちで、利用者様、家族、地域住民、職員共々地域密着型として温泉の湧き出る自然豊かな団地内的一角で暮らしております。温泉の方もアトピーや神経痛や胃腸障害等に効果があり完全かけ流し湯で提供し皆様入浴されております。また、地域住民の方、ご家族を交えて夏祭りやバーベキューを行い皆様とても喜ばれ、ご協力をいただきながら大盛況にて終えることが出来ました。また利用者様と若手職員と門松作りをしたり等行事も行いました。天気がいい日には鹿児島神宮、菜の花畑、コスモス見学やドライブ、地域のお散歩等もしております。利用者様が住み慣れた地域で生活ができるよう支援を行っています。利用者様自身、ご家族の希望もあるのですが看取りや在宅復帰に力を入れており医療機関との細めな連携を取り入れ利用者様、家族が安心安全に暮らせる環境作りに努めており、ライフサポーター「介護何でも相談所」の事業所で職員2名で対応しており家族、地域住民の相談窓口としても安心して暮らせる事業所として取り組んでいます。お口に合うように美味しい食事については、季節に応じた食事にしたり様々な料理を作り召し上がっていただき活力あふれる生活をして頂けるよう心掛けております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

たんぽぽ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼の挨拶時、利用者様に向けての唱和を行い実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加は、高齢化に伴い限られて難しい面もあるが施設行事の中で地域住民を招待し、その際は全員参加で交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	まちかど相談所・緊急時や避難訓練等、地域住民の参加・協力して情報の共有を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議は年6回実施。利用者状況・活動報告・現況報告等により地域の方行政と質疑応答や意見交換を行いサービスの向上を図る		
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	霧島市主催の催し物に参加する。手続き等・報告・相談ご指導を受けて改善できるところは改善している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会を中心に・身体拘束・言葉による仰制・薬による仰制を行わない。チェックリストを活用し身体拘束をしないという事を認識する		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止・権利擁護研修に参加して、持ち帰り事業所内の取り組みを行い県に報告する			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会への参加と全体ミーティングにて情報を共有し、取り組みとして入所者様一人一人の尊重を守りその人らしさを目指す			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	家族や利用者様への十分な説明の上意向を聞いて、納得・理解して頂き契約している			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、気がかりな事・意見・要望を把握しながら情報交換を行う。家族への情報発信と働きかけを行う			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月1回の全体ミーティングの実施事例を基に職員の意見や要望を伝え、業務改善に取り組んでいる。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員の資格取得に向けた支援計画を行う。健康診断や福利厚生への手厚い支援がある。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	毎月の勉強会への参加。職能評価シートや自己評価など活用し意識改革を行う。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	外部研修への参加により行政の動き・これから取り組み等、発信して情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族から情報を得る入所者様のせいかれきや会話の中から思いを汲み取り、その人らしい暮らしの実現に向けた取り組みを行う。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気軽に来苑でき、面会時の大切な時間を有意義に過ごせるように環境・関係作り仲介支援を行い信頼関係の構築に努める。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の協力・意向を伺い情報を基に、ミーティングを行い今必要と思われる支援を見極める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	基本的な優しさを持ち、不安な気持ちを学び、慣れあいにならずならず尊敬して、最期を幸せな人生だったと言ってもらえるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との絆を大切に、家族の意向もプランに反映させ情報発信や交流会を通して、共に相談し、話し合いのできる環境作りに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力・情報収集を行い昔話やドライブなどに参加する。家族が誕生日に集まる等遠方の家族との交流を深めることができるように健康管理と目標設定をする		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ趣味やできる・できない等考えてレクリエーションを計画し、参加していただくことで会話も弾み笑顔も多い。家族的雰囲気が保たれるよう考えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設入所行かれたり、入院中に退所された場合、その後の様子を電話、手紙等で、家族やケアマネと情報交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日常会話の中から、その方の思いや希望・意向の把握に努めている。買い物・ドライブ・散歩等出来る範囲内でしている。困難な場合は、家族の意向も反映しながら本人本位に検討している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入所前に訪問した、ケアマネから情報を得たりしている。家族や知人の面会時の会話の中から得ることもあるので、その機会に把握できるよう心掛けている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	毎朝のバタサインチェック・ケース記録・申し送り簿等を通して、現状把握に努めている		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	毎朝のミニカンファレンス・月付のユニットミーティング・担当者会議などで意見を出し合い介護計画に活かしている。受け持ち職員の意識向上がもう少し図れたら良いとも考える。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケアプランに沿った記録することで情報共有し、介護に継続性が持てるよう努めている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人や家族のその時々の状況に応じて柔軟に対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	散髪は、地域の美容室から来て頂いている。美容師さんも利用者様との関わり方が上手くなっている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人やご家族の希望されたかかりつけ医で医療を受けられている。受診時は職員が付き添い、結果は必ず家族に報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	情報や気づきを看護師に伝え適切な受診や看護が受けられている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でできるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は、毎日洗濯物を取りに行き、入所者様を見舞うようにしている。本人や家族の安心感を得られるように努めている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人やご家族の意向を大切にし、できる限り希望に沿った終末期が迎えられるように努めている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応については、常に話し合っている。心肺蘇生法・AEDについての研修は全員参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練を実施している。 台風や雪のひどい時など職員が泊まるなどして備えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	常に尊敬の念を持って感じ対応。言葉かけをするよう心掛けている。職員同志注意しあう事が大切だと認識している。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者様との会話を通したり、行動表情を観察する事で思いや希望を把握している。思いや希望をおもいだしやすい雰囲気作り、信頼関係を大切にしている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	業務に流されることなく、利用者様中心の介護支援を大切にしている		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	行事参加や外出時などは、口紅をつけたり化粧をしておしゃれの支援をしている。		
		<p>○食事を楽しむことのできる支援</p>	ホットプレートを使って、お好		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	み焼きギョーザ・焼きそば・焼きなどで楽しんで頂くホットケーキせんざい・ゼリー等手作りのおやつも喜ばれる。食器の片付けを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方にあった食事量・形態飲み物等工夫している。水分を1200～1500ml／日確保を目標にしている。			
42	○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方に応じた口腔支援をしている。お茶使用上手にうがいのできない人は口腔用ティッシュ・口腔ジェル等使用して肺炎予防している。			
43 16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意。便意の有無にかかわらず時間誘導し、トイレでの排泄を心掛けている。日中は布パンツ使用し、おむつへの移行を遅らせるようにしている。またなるべくおむつ使用を減らし家族の経済負担を軽くするように努めている。度々の陰部洗浄・清拭で清潔を保つように心掛けている。			
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時、冷たい牛乳を飲んで頂く。ヨーグルト・芋・果物・水分を多く沢山摂って頂く。ホテルでの散歩や歩行体操など運動も取り入れている。困難時には医師に相談する。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回のかけ流し温泉での入浴を楽しみにしておられる。体調不良時や入浴拒否時は、時間をずらしたり翌日にしたり配慮している。夏場は毎日シャワー浴を希望される方もいる。ユニットにもリフトが欲しい		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	高齢の方のみであり午睡は設定強制ではなくフロアで過ごされる方もいる。安眠できるよう照明等にも配慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないように確認3回を実施し、確実に服用できるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に応じた役割を職員と一緒に行っている。午前、午後のレクリエーション・散歩・誕生会などの行事を楽しみにされ気分転換となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	天気の良い日は大好きな散歩に出かけている。遠出は、高齢なので積極的に取り入れていない。近くの公園でお花見・コスモス畠など楽しみにしている。家族との外出・外食散歩などで楽しむことができるよう支援している。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持ったり使えるように支援している</p>	お金の支払いや所持ができない方は外出時、好きなものを買ったり、食べたりして頂く。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望時やお礼の電話などして頂く。書ける人は、年賀状など書いて頂く		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	室内やホールに利用者様作品の塗り絵・行事毎の写真などを貼り喜ばれている。温度・湿度等を把握し換気をしながら施設特有の臭いがないよう、気持ち良く過ごせるよう心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でラジオを聞く人・塗り絵に熱中する人・会話を楽しむ人・日向ぼっこをする人思い思に過ごせる居場所がある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや鏡台・家族写真・位牌・仏壇など置いて生活されている。面会時は一緒に写真を撮り室内に貼り家族を思い、安心感を得て頂く。室内の整理整頓にも努めている。受け持ち職員が中心となって工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いすの方にも、歩行の方にも安全に生活できるように努めている。ヒヤリハットの活用で安全対策を考える。		

## V アウトカム項目

		1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいの
		3 利用者の1/3くらいの
		4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1 毎日ある
		2 数日に1回程度ある
		3 たまにある
		4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない